

遺愛の卒業式について

3月1日（火）には高校3年生225名が遺愛女子高校を、3月12日（土）には中学3年生56名が遺愛女子中学校を巣立っていきます。

遺愛として最初の卒業式は、今から123年前の1888年6月に行われました。第1回卒業生はたった1人、「珍田みわ」という方でした。女学校開校時の1882年には6名の生徒が入学し、その年の秋には10名以上が在学していたのですが、6年たって卒業できたのは1名でした。その翌年の卒業式は行われず、1890年9月9日に第2回の卒業式が行われました。本当は6月に卒業式を行う予定でしたが、この年インフルエンザが大流行し、9月まで延期せざるをえませんでした。卒業できたのは「山田トク」さん、「中野ウメ」さんの2人だけでした。この当時は卒業認定が非常に厳しかったようで、そのような時代が30年以上続いたようです。1917年（大正6年）3月23日に行われた第26回遺愛の卒業式で、デカルソン校長は「6年前に25人が入学しました。…その半数がこの6年間に抜け、今日の卒業式に参列したのは12人でした。」と告辞のなかで述べていました。欧米式の厳しさで初期の卒業生はとても優秀だったようです。

高校卒業生は旧制と新制あわせて昨年までで119回の卒業式を行い18,604名卒業しました。中学卒業生は新制で63回の卒業式を行い、昨年までで4,706名卒業しました。**中高あわせると第1回から数えると延べ23,310名が卒業**していることとなります。新たに遺愛の卒業生に加わる皆さんは、時代は違っても、3年間頑張り抜いての卒業です。立派です。いつまでも誇りにしてほしいと願っています。



素敵な「お雛さま」が遺愛ホールに飾られています。

例年1月の末から3月3日まで、母の会のお母様方のボランティアで、遺愛ホールにお雛さまが飾られています。雛祭りは女子のすこやかな成長を祈る節句の年中行事です。とても女子校らしくて、自然と笑みがこぼれて、温かな気持ちになります。どうもありがとうございます。

2011年2月25日（金）